

平成27年度補正予算
中小企業等の省エネ・生産性革命投資促進事業費補助金

設備別 省エネルギー効果計算の手引き

独自計算(全設備区分共通)

平成28年7月 1.4版

■ 更新履歴

No.	版番	更新日	更新ページ	更新内容
1	1.0	2016/02/29		新規作成
2	1.1	2016/03/22	P.4~6	導入設備登録（「設備情報」「構成機器」）の説明、構成機器情報の入力例を追加
			P.7~12	ポータル操作方法の説明を追加・更新 操作方法に合わせ、ポータル入力項目の説明順番を変更
			P.13~14	登録情報を更新した場合の再計算方法
3	1.2	2016/03/24	P.17	「計算過程説明書の注意事項」を追加
4	1.3	2016/05/10	P.2	省エネルギー効果計算の考え方 独自計算に説明を追加
			P.17	必要添付書類No.2 必要証憑例と説明を追加
5	1.4	2016/07/29	P.13~14	登録情報を更新した場合の再計算方法を更新

本手引きをご確認いただく前に

本手引きは、独自計算を用いる場合の補助事業ポータル登録方法についての詳細を説明したものです。本手引きをご覧いただく前に、本事業における省エネルギー効果の考え方や、既存設備・導入予定設備の計算条件、注意事項等について説明した「[省エネルギー効果計算について](#)」、及び設備ごとの「[省エネルギー効果計算の手引き](#)」をまずご確認ください。

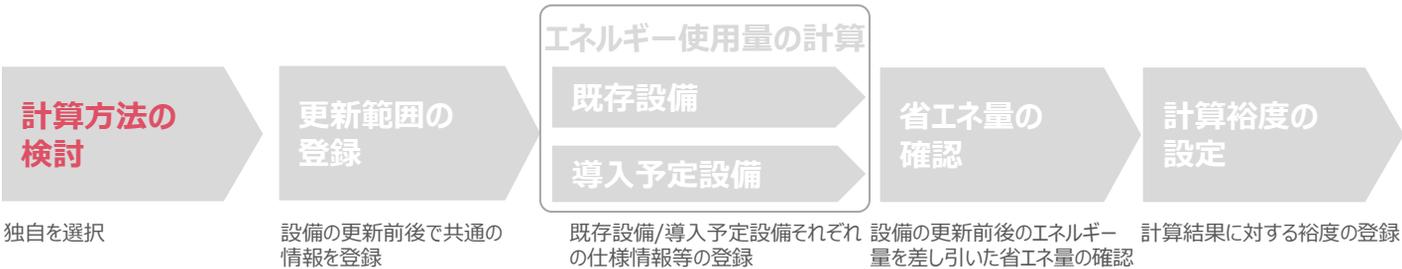
■省エネルギー効果計算の考え方

本事業における省エネルギー計算の独自計算の概要は下記となります。

計算パターン	概要	事業者負担
指定計算	SIIが指定する計算式とSIIが指定する標準的な数値テーブル (負荷率等)を用い、カタログ等から把握できる導入予定設備の「仕様・能力」から省エネルギー効果を計算する方法。	小
簡易計算	SIIが指定する計算式と事業者が独自に設定する数値テーブル （負荷率等）を用い、カタログ等から把握できる導入予定設備の「仕様・能力」から省エネルギー効果を計算する方法。 ※事業者が独自に設定した値のみ根拠を示す証憑の提出が必要	中
独自計算	計算式や使用する値・テーブルとも事業者が独自に設定し 省エネルギー効果を計算する方法。 ※計算手順および用いた値の根拠を示す証憑の提出が必要 ※各設備の省エネルギー効果計算の手引きに記載している計算式の考え方を参考に用いても良い。	大

独自計算

本手引きでは、全設備区分において共通で使用できる、「独自計算」について説明します。
 「指定計算」「簡易計算」については、該当の「設備別 省エネルギー効果計算の手引き」をご覧ください。
 ※本手引きでは、「ガスヒートポンプエアコン」から「電気式パッケージエアコン」への更新を例に説明しています。



■ 独自計算に関する基本的な考え方について

各設備区分の「指定計算」「簡易計算」で対応できない場合は、すべて独自計算を用います。
 (例：設備区分・種別を横断した設備更新を行う場合等)

独自計算は、計算式や使用する値、テーブルとも事業者自身が独自に設定して、省エネルギー効果を計算する方法です。
 補助事業者自身で計算するための準備が必要なほか、計算過程と根拠を示した証憑書類の提出が必要です。

※準備が必要な証憑の例

- ・ 既存設備、導入予定設備のカタログ
- ・ 任意設定値が確認できる証憑(設備能力設計書、仕様書等)
- ・ 省エネルギー計算過程を示す資料
- ・ その他、独自計算の妥当性を示せる根拠資料 等

※提出が必要な証憑書類については、「P.17 必要添付書類」をご確認ください。

■ 独自計算における注意事項

1. 独自計算実施に先立つ注意

- ・ 既存設備の計算に「独自計算」を用いた場合は、導入予定設備の計算にも「独自計算」を用いることとします。
- ・ 独自計算においても、既存設備のエネルギー使用量と導入予定設備のエネルギー使用量を計算し、その差を省エネルギー量として計算することは他の計算方法と同じです。
- ・ また、設備の更新前後において**稼働条件は統一して計算する**点も、他の計算方法と同じです。
 ※各設備区分における稼働条件については、交付申請の手引きP.57「6-1 省エネルギー効果計算について」-「■設備の更新前後での計算条件統一について」を参照してください。



2. 補助事業ポータルにおける計算時の注意

- ・ 補助事業ポータルへは原油換算前の各種エネルギー使用量を入力してください。
- ・ 省エネルギー効果計算は月別に行ってください。
 年間計算しかできない場合、年間値を計算後12等分して入力してください。
- ・ 事業者自身で計算する省エネルギー量には、裕度を考慮しないで下さい。
 (補助事業ポータル上で裕度を登録する工程がある為)

<参考> 導入設備登録 画面

■「設備情報」と「構成機器」の登録

省エネルギー効果計算に先立って登録が必要な、「導入設備登録 画面」の項目を示します。

なお、情報登録時に必要な書類の説明や具体的な登録手順については、「交付申請の手引き」-「第5章 導入予定設備と経費の登録」-「5-1 導入予定設備の基本情報の登録」をご覧ください。

※本参考ページは、「交付申請の手引き 第5章」のP. 4 6～4 7に該当します。

P.4～6の説明は、電気式パッケージエアコンの登録例です。

各設備の詳細な登録項目については、該当の「設備別 省エネルギー効果計算の手引き」をご覧ください。

<導入設備登録 画面>

画面情報		
画面名	導入設備登録 画面	
申請書情報		
管理情報	申請書番号	KT-16031800415
	補助事業名	高効率空調の更新(GHP→EHP)による省エネ事業
	事業所名称	本社
区分・分類		
区分・分類	1 設備区分*	高効率空調 ▼
	2 種別*	電気式パッケージエアコン ▼ 確定
設備情報		
3 設備情報	3-1 製造メーカー*	〇〇株式会社
	3-2 製品名*	エアコンE
	3-3 型番*	H28-SEKT
	3-4 台数*	1 台
4 基準要件	4-1 性能区分*	店舗用 ▼ 4方向カセット形 / 型式 63形 ▼
	4-2 基準値	<APF> 5.8 以上
	4-3 性能値*	5.9
	4-4 備考	
5 その他仕様	5-1 冷房定格能力*	26.0 kW
	5-2 冷房定格消費電力*	10.0 kW
	5-3 暖房定格能力*	26.0 kW
	5-4 暖房定格消費電力*	10.0 kW

1 と 2 を入力し、「確定」をクリック
→ 導入予定設備情報を入力する画面を表示

<参考> 導入設備登録 画面

■ 設備情報の入力

下表の説明を参考に、導入予定設備の情報を入力します。

入力した導入予定設備の情報は、証憑書類（カタログ・仕様書等）の該当する箇所に蛍光マーカー等で印をつけ、転記した箇所が判るようにしてください。

項目	No.	項目名	入力方法	説明
区分・分類	1	設備区分	プルダウン	導入する設備の設備区分（電気式パッケージエアコンの例では「高効率空調」）を選択する。
	2	種別	プルダウン	設備区分に合わせて表示される設備種別（ここでは「電気式パッケージエアコン」）を選択する。
3 設備情報	3-1	製造メーカー	手入力	導入予定設備の製造メーカー名を入力する。 ※英数字は半角で入力すること。
	3-2	製品名	手入力	導入予定設備の製品名を入力する。 ※英数字は半角で入力すること。
	3-3	型番	手入力	製品カタログ・仕様書を見ながら、導入予定設備の型番を入力する。 ※アルファベット、数値等の誤入力がないように確認すること。 ※英数字は半角で入力すること。 ・カタログ・仕様書にセット型番の記載が ある 場合（セット製品で導入する場合） → セット型番（室外機と室内機等の組み合わせ型番）を入力する。 ※構成部品である子型番は、別途「対象機器内訳」で入力する。 ・カタログ・仕様書にセット型番の記載が ない 場合（機器それぞれの型番で導入する場合） → 室外機の型番を入力する。
	3-4	台数	手入力	当該型番の導入予定台数を入力する。 ※誤入力がないよう、「見積書」と台数の一致を確認する。
4 基準要件	4-1	性能区分	プルダウン	「公募要領 別表1」を参考に、導入予定設備の性能区分を選択する。 ・また、詳細については設備別の「省エネルギー効果計算の手引き」を参照してください。 ・不明な場合は製造メーカー等に確認し、正しい種別を選択する。
	4-2	基準値1	自動表示	上記「性能区分」の選択結果に応じて、基準値が表示される。
	4-3	性能値1	手入力	製品カタログ、仕様書を見ながら、導入予定設備の性能値を転記する。
	4-4	備考	手入力	必要に応じて入力する。（原則、入力不要）
5 その他仕様	5-1 ～ 5-4	冷房定格能力 冷房定格消費電力 暖房定格能力 暖房定格消費電力	手入力	製品カタログ、仕様書を見ながら、導入予定設備の冷房/暖房それぞれの定格能力と定格消費電力を転記する。 ※半角で入力のこと。

<参考> 導入設備登録 画面

■ 構成機器情報の入力

下表の説明を参考に、構成機器の情報を入力します。

6

No.	対象機器	製造メーカー*	製品名*	型番*	台数*	本体 構成機器
1	室内機	<input type="text" value="〇〇株式会社"/>	<input type="text" value="室内機〇〇"/>	<input type="text" value="SG-75"/>	<input type="text" value="1"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
2	室外機	<input type="text" value="〇〇株式会社"/>	<input type="text" value="室外機〇〇"/>	<input type="text" value="SG-700"/>	<input type="text" value="1"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
3	リモコン	<input type="text" value="〇〇株式会社"/>	<input type="text" value="液晶リモコン"/>	<input type="text" value="RC-001"/>	<input type="text" value="1"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
4	パネル	<input type="text" value="〇〇株式会社"/>	<input type="text" value="天井パネルP"/>	<input type="text" value="PN-002"/>	<input type="text" value=""/>	<input type="checkbox"/>
5	分岐管	<input type="text" value="〇〇株式会社"/>	<input type="text" value="分岐管K"/>	<input type="text" value="BK-008"/>	<input type="text" value="1"/>	<input type="checkbox"/>
6	アクティブフィルタ	<input type="text" value="〇〇株式会社"/>	<input type="text" value="フィルタF"/>	<input type="text" value="AF-004"/>	<input type="text" value="1"/>	<input type="checkbox"/>
7	室内機	<input type="text" value="〇〇株式会社"/>	<input type="text" value="室内機〇〇"/>	<input type="text" value="SG-50"/>	<input type="text" value="1"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
8	室内機	<input type="text" value=""/>	<input type="text" value=""/>	<input type="text" value=""/>	<input type="text" value=""/>	<input type="checkbox"/>
9	パネル	<input type="text" value="〇〇株式会社"/>	<input type="text" value="天井パネルP"/>	<input type="text" value="PN-101"/>	<input type="text" value="1"/>	<input type="checkbox"/>
10	パネル	<input type="text" value=""/>	<input type="text" value=""/>	<input type="text" value=""/>	<input type="text" value=""/>	<input type="checkbox"/>
11	全熱交換器	<input type="text" value=""/>	<input type="text" value=""/>	<input type="text" value=""/>	<input type="text" value=""/>	<input type="checkbox"/>
12	エアハンドリングユニット	<input type="text" value=""/>	<input type="text" value=""/>	<input type="text" value=""/>	<input type="text" value=""/>	<input type="checkbox"/>
13	ファンコイルユニット	<input type="text" value=""/>	<input type="text" value=""/>	<input type="text" value=""/>	<input type="text" value=""/>	<input type="checkbox"/>

※セット型番がある場合は、P.4、P.5 で入力した情報を再度入力すること。

項目	No.	項目名	入力方法	説明
6 構成機器	6-1	対象機器	自動表示	前ページで選択した「設備区分」「種別」に応じ、補助対象となる構成機器が表示される。 ※以下の項目（画面では「製造メーカー」より右）については、実際に導入予定である機器についてのみ、情報を入力していきます。
	6-2	製造メーカー	手入力	導入予定機器の製造メーカーを入力する。 ※英数字は半角で入力すること。
	6-3	製品名	手入力	導入予定機器の製品名を入力する。 ※英数字は半角で入力すること。
	6-4	型番	手入力	導入予定機器の型番を入力する。 ※英数字は半角で入力すること。 ・カタログ・仕様書にセット型番の記載がある場合（セット製品で導入する場合） → 構成される子型番（構成機器それぞれの型番）を入力する。 ※セット型番に含まれない付帯設備がある場合は、当該設備の型番を入力する。 ・カタログ・仕様書にセット型番の記載がない場合（機器それぞれの型番で導入する場合） → 導入するそれぞれの機器の型番を入力する。
	6-5	台数	手入力	当該型番の導入予定台数を入力する。
	6-6	本体 構成機器	チェック	導入する機器が本体、及びセット型番に含まれる構成機器である場合に、チェックを入れる。 ※ここでは電気式パッケージエアコンを例に説明しています。 <設備別にそれぞれの型番で導入する場合> 室外機の□にチェックを入れる。 <セット型番で導入する場合> セット型番に含まれる型番の□にチェックを入れる。

独自計算

計算方法の
検討

更新範囲の
登録

エネルギー使用量の計算

既存設備

導入予定設備

省エネ量の
確認

計算裕度の
設定

■ 更新範囲登録画面の表示

省エネルギー効果計算を行うために、更新範囲を登録します。

省エネルギー効果計算は、補助事業者情報、導入設備情報等を登録した後で、「申請書詳細 画面」の「省エネルギー効果計算(総括)」欄から画面を開きます。計算を行う設備区分の「詳細」をクリックして「設備情報一覧」画面に進み、そこから更新範囲の登録画面に進みます。

<申請書詳細 画面>

省エネルギー効果計算(総括)

No.	詳細	設備区分	事業実施前 原油換算使用量	省エネルギー量(原油換算)			
				電気	ガス	油	熱
1	[詳細] 高効率照明		0.240kl	0.240kl	0.000kl	0.000kl	
2	[詳細] 高効率空調		6.572kl				
3	[詳細] 産業ヒートポンプ						
4	[詳細] 業務用給湯器						
5	[詳細] 高性能ボイラ						
6	[詳細] 低炭素工業炉						
7	[詳細] 変圧器		3.82kl				
8	[詳細] 冷凍冷蔵庫						
	計		10.641kl				
	合計		10.641kl				

<更新範囲一覧 画面>

「申請書詳細 画面」を下部までスクロールし、計算を行う設備区分の「詳細」をクリック

「更新範囲追加(計算方法)」をクリック
※「指定計算・簡易計算」または「独自計算」のいずれかを選択

独自計算

<更新範囲登録 画面>

sii 中小企業等の
 省エネ・生産性革命投資促進事業費補助金

ホーム 革命投資申請書検索 革命投資申請書作成

ログアウト

更新範囲登録

戻る 保存

*は入力必須項目です。

画面情報
 画面名 更新範囲登録 画面

申請書情報
 申請書番号 KT-16031800415
 補助事業名 高効率空調の更新(GHP→EHP)による省エネ事業
 事業所名称 本社
 設備区分 高効率空調

設備情報
 計算方法
 計算方法 (既存/導入予定) 独自計算/独自計算

更新範囲情報
 更新範囲 1 フロア1
 ※16文字以内で入力してください

戻る 保存

1 を入力後「保存」をクリック

■更新範囲情報の入力

下表の説明を参考に、計算時に使用する統一条件を登録します。

No.	項目名	入力方法	説明	備考
1	更新範囲名	手入力	更新範囲の名称を登録する。 例) フロア1、オフィスフロア、店舗フロア 等	提出書類「2-10 既存設備の撤去範囲」、及び「2-11 導入予定設備の配置図」の記載と整合性をとること。

独自計算

エネルギー使用量の計算

計算方法の
検討

更新範囲の
登録

既存設備
導入予定設備

省エネ量の
確認

計算裕度の
設定

■ 既存設備情報の登録(独自計算)

省エネルギー効果計算を行う既存設備の基本情報や稼働台数等の情報を登録します。
※ここでは、ガスヒートポンプエアコン→電気式パッケージエアコンへの設備更新を例に説明します。

<更新範囲一覧 画面>

中小企業等の
省エネ・生産性革命投資促進事業費補助金

ホーム
革命投資 申請書検索
革命投資 申請書作成

更新範囲一覧

更新範囲追加(指定計算・簡易計算)
更新範囲追加(独自計算)
設備追加(既存)
設備追加(導入予定)

「設備追加(既存)」
をクリック

↓

画面情報

画面名 設備情報登録 画面

申請書情報

申請書番号: KT-16031800415

補助事業名: 高効率空調の更新(GHP-EHP)による省エネ事業

管理情報

種別計算方法

既存/導入予定	既存/導入予定	既存
1	更新範囲*	70A1 ▾
2	種別*	〔空調ガスヒートポンプエアコン〕 ▾
	計算方法	独自計算

確定

1 と 2 の入力後「確定」をクリック
→ 既存設備情報を入力する画面を表示

↓

設備情報

3	製造メーカー	〇〇株式会社
4	製品名	エアコンG
5	型番	H7-TMAK
6	台数*	1 台
7	設置年*	1995年 ▾

エネルギー種別情報

8	使用エネルギー-1*	屋間買電 ▾
9	熱量換算係数1*	9.97 GJ/kWh
10	使用エネルギー-2	ガス(その他) ▾
11	熱量換算係数2	21.0 GJ/m ³

エネルギー使用量(電気)

月	エネルギー使用量 (kWh)	原油換算量 (ki)
1月	200.0	0.051
2月	200.0	0.051
3月	200.0	0.051
12月	200.0	0.051
合計	2,400.0	0.612

エネルギー使用量(ガス)

月	エネルギー使用量 (m ³)	原油換算量 (ki)
1月	597.2	0.323
2月	592.0	0.315
合計	5,990.0	3.239

エネルギー使用量合計

全エネルギー使用量(原油換算)合計	3.8	3.239
-------------------	-----	-------

「原油換算量計算」をクリック後、
「保存」をクリック

戻る
保存

独自計算

■ 既存設備情報の入力（独自計算）

下表の説明を参考に、既存設備情報を登録します。

No.	項目名	入力方法	説明	備考
1	更新範囲	プルダウン	事前に登録した更新範囲から該当の範囲を選択する。	
2	種別	プルダウン	既存設備の種別を選択する。	
3	製造メーカー	手入力	既存設備の製造メーカー名を入力する。 ※英数字は半角で入力すること。	既存設備銘板等参照。
4	製品名	手入力	既存設備の製品名を入力する。 ※英数字は半角で入力すること。	既存設備銘板等参照。
5	型番	手入力	既存設備の製品型番を入力する。 ※英数字は半角で入力すること。	既存設備銘板等参照。
6	台数	手入力	1 で選択した更新範囲内の、既存設備の台数を入力する。	誤入力がないよう、「2-10既存設備の撤去範囲」と台数の一致を確認すること。
7	設置年	プルダウン	固定資産管理台帳に記載されている、既存設備の設置年（取得年）を選択する。	
8	使用エネルギー1	プルダウン	既存設備の使用エネルギーを選択する。	
9	熱量換算係数1	自動表示 又は手入力	8 で「ガス（その他）」を選んだ場合は、熱量換算係数を入力する。それ以外の項目を選択した場合は、自動表示される。	
10	使用エネルギー2	プルダウン	既存設備の使用エネルギーを選択する。	
11	熱量換算係数2	自動表示 又は手入力	8 で「ガス（その他）」を選んだ場合は、熱量換算係数を入力する。それ以外の項目を選択した場合は、自動表示される。	
12 13	エネルギー使用量	手入力	8、及び 10 で選択した各エネルギーの使用量を入力する。	裕度を考慮しない値を入力すること。

※同じ更新範囲に異なるメーカーや能力の既存設備がある場合は、再度「設備追加(既存)」をクリックし、同じ手順に沿って既存設備の追加操作を行ってください。



独自計算

エネルギー使用量の計算

既存設備

導入予定設備

省エネ量の
確認

計算裕度の
設定

計算方法の
検討

更新範囲の
登録

■ 導入予定設備情報の登録（独自計算）

省エネルギー効果計算を行う導入予定設備の基本情報や導入台数等の情報を登録します。
※ここでは、ガスヒートポンプエアコン→電気式パッケージエアコンへの設備更新を例に説明します。

<更新範囲一覧 画面>

月	エネルギー使用量 (kWh)	原油換算量 (kg)
1月	1075.0	
2月	1049.0	
3月	800.8	
合計		

No.	対象機器	製造メーカー	製品名	型番
1	室内機	株式会社	エアコンE	H28-SEKT
2	室外機	株式会社	室外機D	H28-SEKT

独自計算

■ 導入予定設備情報の入力（独自計算）

下表の説明を参考に、導入予定設備情報を登録します。

No.	項目名	入力方法	説明	備考
1	更新範囲	プルダウン	事前に登録した更新範囲から該当の更新範囲を選択する。	
2	型番	プルダウン	事前に登録した導入予定設備の型番から該当する型番を選択する。	
3	台数	手入力	1 で選択した更新範囲内の、導入予定設備の台数を入力する。	誤入力がないよう、「見積書」「2-11 導入予定設備の配置図」と台数の一致を確認すること。
4	設置年	プルダウン	「2016年」、又は「2017年」を選択する。	「年度」ではなく「年」で選択すること。
5	使用エネルギー	プルダウン	導入予定設備の使用エネルギーを選択する。	
6	エネルギー使用量	プルダウン	5 で選択した各エネルギーの使用量を入力する。	裕度を考慮しない値を入力すること。

※同じ更新範囲に異なるメーカーや能力の導入予定設備がある場合は、再度「設備追加(導入予定)」をクリックし、同じ手順に沿って導入予定設備の追加操作を行います。



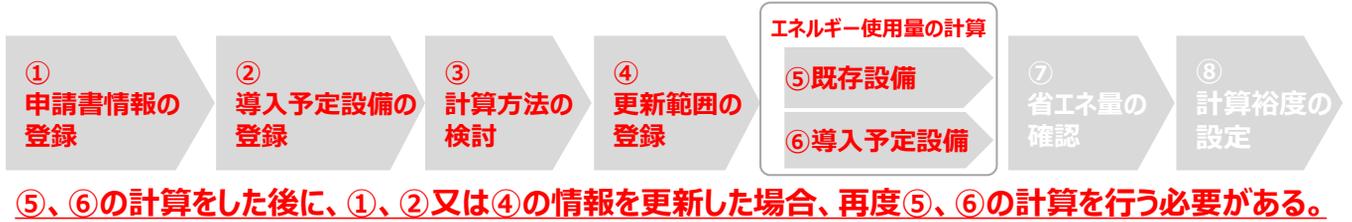
<申請書詳細 画面>



登録が完了すると、「申請書詳細 画面」に戻ります。続けて、登録した内容、及び自動計算の結果を確認します（詳細は次ページを参照）。

<参考> 登録情報を更新した場合の再計算方法

補助事業ポータルでは、以下の順番で情報の登録を進めていきます。「申請書情報」「導入予定設備」「更新範囲」の情報に基づき、「既存設備」と「導入予定設備」のエネルギー使用量が自動で計算されます。万が一「エネルギー使用量の計算」を行った後に、「申請書情報」「導入予定設備」「更新範囲」の更新を行った場合には、再度「エネルギー使用量の計算」を行う必要があります。※情報の登録を行う際は製品カタログや仕様書等を準備の上、間違いのない情報を入力するようにしてください。



■再計算手順

手順1.<更新範囲一覧画面>

更新範囲一覧									
更新範囲追加(指定計算・簡易計算) 更新範囲追加(独自計算) 設備追加(既存) 設備追加(導入予定)									
更新範囲一覧									
No.	詳細	更新範囲	要計算	設備情報	導入予定件数	省エネルギー量(原油換算量)	年間稼働時間	(内訳)冷房稼働時間	(内訳)暖房稼働時間
1	詳細	フロア1	○	一覧			2,500 h	1,100 h	1,400 h
合計									

「要計算」の欄に「○」が表示されている場合は、再計算を行うため、「詳細」をクリック

手順2.<設備情報一覧画面>

設備一覧										
No.	詳細情報	要計算	製品名 型番	台数	エネルギー使用量(原油換算量)					
					電気	ガス	油	熱	その他	計
1	詳細	○	電気式パッケージエアコン エコエアコン OLD-224TMAK	1	1.148 kl	0.000 kl	0.000 kl	0.000 kl	0.000 kl	1.148 kl
2	詳細	○	電気式パッケージエアコン エコエアコンW NEW-224TMAK	1	0.666 kl	0.000 kl	0.000 kl	0.000 kl	0.000 kl	0.666 kl

「要計算」の欄に「○」が表示されている左側の「詳細」をクリック

手順3.<設備情報詳細画面>

設備情報登録	
<p>注意: エネルギー使用量の計算に使用する内容が更新された可能性があります。当設備情報を再度編集・保存して最新の計算結果を確認してください。</p>	
編集	削除

エラーメッセージを確認し、「編集」をクリック

再計算を行う必要がある場合の例 (A)

- ・「申請書詳細画面」で事業所の「都道府県」を変更した場合
- ・更新範囲の「稼働時間」を変更した場合 等

⇒手順4.(A)へ進んでください

再計算を行う必要がある場合の例 (B)

- ・導入予定設備の情報を更新した場合
- ・申請書情報 (又は更新範囲情報) と導入予定設備の情報を更新した場合 等

⇒手順4.(B)へ進んでください

<参考> 登録情報を更新した場合の再計算方法

再計算を行う必要がある場合の例 (A)

再計算を行う必要がある場合の例 (B)

手順4. (A) <設備情報編集画面>

設備情報登録

*は入力必須項目です。

画面情報

画面名 設備情報編集画面

エネルギー使用量

2 原油換算量計算 「原油換算量計算」をクリック

月 運転種別 定格能力 (kW) 月間平均負荷率 (%) 月間平均COP 冷暖房稼働時間 (h)

1月 暖房 25,000 5.70

No. 対象機器 製造メーカー 製品名 型番

1 室内機 ○○株式会社 エコエアコンW NEW-224TMAK

3 保存 「保存」をクリック

手順4. (B) <設備情報編集画面>

設備情報

製造メーカー

製品名

型番* 1 --なし-- 「導入予定設備」を更新した場合は、必ず一度「--なし--」を選択する。(情報の更新を行うため)

台数* NEW-450TMAK / 13.00 kW / 14.50 kW

設備情報

製造メーカー ○○株式会社

製品名 エコエアコンW

型番* 2 NEW-450TMAK / 13.00 kW / 14.50 kW 「改めて導入予定設備の型番を選択する。」

台数* NEW-450TMAK / 13.00 kW / 14.50 kW

エネルギー使用量

3 原油換算量計算 「原油換算量計算」をクリック

月 運転種別 定格能力 (kW) 月間平均負荷率 (%) 月間平均COP 冷暖房稼働時間 (h)

1月 暖房 25,000

No. 対象機器 製造メーカー 製品名 型番

1 室内機 ○○株式会社 エコエアコンW NEW-224TMAK

4 保存 「保存」をクリック

※「再計算を行う必要がある場合の例 (B)」の際の注意点

導入予定設備情報を更新した場合は、忘れずに 1、2 を行うこと。

また、申請書情報又は更新範囲情報を更新した場合は、忘れずに 3 を行うこと。

申請書情報(又は更新範囲情報)と導入予定設備情報を更新した場合は、忘れずに 1 2 及び 3 を行うこと。

1 2、又は 3 を行わずに 4 を行った場合でも、「更新範囲一覧 画面」と「設備情報一覧 画面」の「要計算」欄から「○」が外れるため、そのまま提出した場合、計算が合わず**不備となるため、十分注意すること。**

独自計算

計算方法の
検討

更新範囲の
登録

エネルギー使用量の計算

既存設備

導入予定設備

省エネ量の
確認

計算裕度の
設定

■登録情報の確認

「申請書詳細 画面」の「導入設備情報一覧」で、設備の計算漏れが無いかを確認してください。

<申請書詳細 画面> - <導入設備一覧>

No.	詳細	設備区分	種別	製造メーカー	製品名	型番	台数
1	直送風	高効率空調	電気式パッケージエアコン	〇〇製作所	NEW-224TMAK	エコエアコンW	1

※上記画面は、電気式パッケージエアコンの例です。

■事業全体での省エネルギー量の確認

計算された省エネルギー量の算出結果を確認します。
申請する補助事業の省エネルギー効果を必ず確認してください。

<申請書詳細 画面> - <省エネルギー効果計算(総括)>

No.	詳細	設備区分	事業実施前 原油換算使用量	省エネルギー量(原油換算)						合計	裕度	計画省エネルギー量 (原油換算)	
				電気	ガス	油	熱	その他	合計			合計	削減率
1	直送風	高効率照明	0.240kl	0.240kl	0.000kl	0.000kl	0.000kl	0.000kl	0.240kl		kl	0.0%	
2	直送風	高効率空調	6.572kl	1.731kl	0.000kl	0.000kl	0.000kl	0.000kl	1.731kl		kl	0.0%	
3	直送風	産業ヒートポンプ	kl	kl	kl	kl	kl	kl	kl		kl	%	
4	直送風	業務用給湯器	kl	kl	kl	kl	kl	kl	kl		kl	%	
5	直送風	高性能ボイラ	kl	kl	kl	kl	kl	kl	kl		kl	%	
6	直送風	低炭素工業炉	kl	kl	kl	kl	kl	kl	kl		kl	%	
7	直送風	変圧器	kl	kl	kl	kl	kl	kl	kl		kl	%	
8	直送風	冷凍冷蔵庫	kl	kl	kl	kl	kl	kl	kl		kl	%	
設備小計			6.812kl	1.971kl	0.000kl	0.000kl	0.000kl	0.000kl	1.971kl		-	0.000kl	0.0%
事業全体の合計			6.812kl	1.971kl	0.000kl	0.000kl	0.000kl	0.000kl	1.971kl		-	0.000kl	0.0%

マイナスの値でも可(※)

マイナスの値は不可

裕度が加味された
合計値が表示される

※既存設備と導入予定設備で使用エネルギーが異なる場合、使用エネルギーごとの合計(1)にマイナスの値が表示される場合がありますが、合計(2)がプラスの値であれば問題ありません。
ただし、事業全体の省エネルギー量の合計(2)が「0」またはマイナスの値となる場合は、省エネルギー効果を得られていないため、交付申請を行うことが出来ませんのでご注意ください。

独自計算

計算方法の
検討

更新範囲の
登録

エネルギー使用量の計算

既存設備

導入予定設備

省エネ量の
確認

計算裕度の
設定

■ 計算裕度設定画面の表示

計算裕度を登録します。

<申請書詳細 画面>



■ 申請書詳細

- 1 [計算裕度登録] をクリックし、「計算裕度登録 画面」を表示

<計算裕度登録 画面>



■ 裕度選択

- 2 裕度 (プルダウン)
設備区分ごとに10~20%の裕度を選択
最低でも10%の裕度設定は必須

■ 裕度登録

- 3 保存
内容を確認し、問題がなければ[保存]をクリック

登録が完了すると、「申請書詳細 画面」に戻ります。

「省エネルギー効果計算(総括)」の「計画省エネルギー量(原油換算)」欄に、裕度が加味された省エネルギー量が表示されます。

これで、すべての必要情報の登録、及び省エネルギー効果計算は完了です。

独自計算

■ 必要添付書類

交付申請書類には、選択した計算パターンに応じて下記証憑書類の添付が必要です。

No.	必要証憑	交付申請時の提出書類名称
1	導入予定設備のエネルギー使用量算出の根拠 例) 導入予定設備の製品カタログ 必要な能力値等を示せる資料 (仕様書等)	添付4 設備の製品カタログ/設備の仕様書
2	既存設備のエネルギー使用量の根拠 ※計算に用いた性能値、実測値、稼働条件 (時間、負荷率等)等の根拠書類を必ず 添付してください。 例) 既存設備の製品カタログ 必要な能力値等を示せる資料 (仕様書等) 既存設備の運転日報 エネルギー使用量計測値、請求書	添付8 省エネルギー効果独自計算書
3	独自計算の計算過程、及び使用した値の証憑 例) 計算過程説明書 (計算式含む) 計算したデータの根拠資料	添付8 省エネルギー効果独自計算書

※独自計算を用いて計算した場合にも、提出書類「2-7 エネルギー使用量計算書」「2-8 省エネルギー効果計算書」の提出は必要となります。

<計算過程説明書の注意事項>

- ・省エネルギー量の根拠、計算の前提となる数値、単位及び式等を具体的に示して記入してください。計算結果のみの記載は不可です。
- ・電卓で計算過程を追えるようなものにしてください。
- ・複数設備を導入する場合は、設備ごとに省エネルギー効果が分かるように記述してください。
- ・国際単位系 (SI) で記載してください。特に熱量はジュール (J) を使用してください。
- ・既存設備、導入予定設備、それぞれのエネルギー使用量を算出し、「エネルギー使用量※」に反映させてください。
※P.10 **12** **13**、P.12 **6** 参照
- ・生産量や稼働時間等を単に減らすだけの省エネルギー量を計算に入れないでください。生産量や稼働時間等が減る見込みの場合も、既存設備の稼働条件と揃えて計算してください。
- ・既存設備のエネルギー使用量に、経年劣化を理由とした補正計算を加えないでください。

独自計算

■エネルギー使用量計算書サンプル（既存設備）

2-7 エネルギー使用量計算書（設備毎/既存設備）

■基本情報

計算方法	独自計算	既存/導入予定	既存設備
更新範囲	フロア1	台数	1台

■設備情報

設備情報	設備区分	高効率空調	種別	(空調)ガスヒートポンプエアコン
	製造メーカー	〇〇株式会社		
	製品名	エアコンG		
	型番	H7-TMAK		
	設置年	1995年		

基準要件	性能区分	-		
	基準値 1	-	性能値 1	-
	基準値 2	-	性能値 2	-
	備考	-		

エネルギー種別情報	エネルギー種別 1	昼間買電	熱量換算係数 1	9.97	千kWh
	エネルギー種別 2	その他の燃料等	熱量換算係数 2	21	千m ³

■原油換算使用量

電気	月	エネルギー使用量 (kWh)	原油換算使用量 (kl)
	1月	200.0	0.051
	2月	200.0	0.051
	3月	200.0	0.051
	4月	200.0	0.051
	5月	200.0	0.051
	6月	200.0	0.051
	7月	200.0	0.051
	8月	200.0	0.051
	9月	200.0	0.051
	10月	200.0	0.051
	11月	200.0	0.051
	12月	200.0	0.051
合計	2,400.0	0.612	

ガス	月	エネルギー使用量 (m ³)	原油換算使用量 (kl)
	1月	597.2	0.323
	2月	582.8	0.315
	3月	444.9	0.241
	4月	78.2	0.042
	5月	195.6	0.105
	6月	460.2	0.249
	7月	1,062.9	0.575
	8月	1,068.8	0.579
	9月	811.0	0.439
	10月	174.1	0.094
	11月	86.6	0.046
	12月	427.9	0.231
合計	5,990.2	3.239	

原油換算使用量合計 (kl)	3.851 kl
----------------	----------

独自計算

■エネルギー使用量計算書サンプル（導入予定設備）

2-7 エネルギー使用量計算書（設備毎/導入予定設備）

■基本情報

計算方法	独自計算	既存/導入予定	導入予定設備
更新範囲	フロア1	台数	1台

■設備情報

設備情報	設備区分	高効率空調	種別	電気式パッケージエアコン
	製造メーカー	〇〇株式会社		
	製品名	エアコンE		
	型番	H28-SEKT		
	設置年	2016年		

基準要件	性能区分	店舗用（4方向カセット）/型式 63形		
	基準値1	〈APF〉5.8以上	性能値1	5.9
	基準値2	-	性能値2	-
	備考	-		

エネルギー種別情報	エネルギー種別1	昼間買電	熱量換算係数1	9.97	千kWh
	エネルギー種別2		熱量換算係数2		

■原油換算使用量

電気	月		エネルギー使用量 (kWh)	原油換算使用量 (kl)
	1月		1,075.0	0.276
	2月		1,049.0	0.269
	3月		800.8	0.205
	4月		140.8	0.036
	5月		352.1	0.090
	6月		828.4	0.213
	7月		1,913.2	0.492
	8月		1,923.8	0.494
	9月		1,459.8	0.375
	10月		313.4	0.080
	11月		155.9	0.040
	12月		770.2	0.198
合計		10,782.4	2.768	

	月		エネルギー使用量	原油換算使用量 (kl)
	1月			
	2月			
	3月			
	4月			
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月			
	11月			
	12月			
合計			0.000	0.000

原油換算使用量合計 (kl)	2.768 kl
-------------------	----------